



ともに またえ みがき のびる

8月号 発行日
令和5年8月10日

TEL:69-2004

FAX:65-5018

E-Mail:kawanishi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp, URL: http://www.miyoshi-kawanishi-e.hiroshima-c.ed.jp/



8月3日(木)、平和学習～塩町に「集団疎開」した元児童から聞き取り

78年前の終戦の年、1945年4月、広島市の袋町国民学校の3～6年生が塩町に集団疎開しました。元疎開児童4名の方が川西小学校を訪れ、2名の方がお話ししてくださいました。

【竹内さんのお話】疎開先…和田の無量寺 当時小学校4年生

アメリカ軍の飛行機が日本の大きな都市に爆弾を落とすようになりました。「広島市も危ない」ということで、子供達は家を離れ、みんなで安全な田舎で生活することになりました。

私は、遠足に行くかのような気分で塩町に来ました。しかし、疎開して数日経つと、母親に会えない寂しさが増しました。

疎開して一番つらかったのは、食べ物が無い事でした。地元の子は梅干しの種を「ペッ」と捨てていましたが、疎開の子は梅干しの種を割って種の中まで食べていました。食べられる草を教えてもらっては食べ、虫さえも食べました。勉強したくてもできなかった。学ぶよりも生きること、食べ物を確保することが一番の日々でした。



【八田さんのお話】疎開先…川西の善立寺 当時小学校3年生

善立寺には70数名疎開しましたが、3年生だったのは私も含め4人だったと思います。夜になると、親に会いたくてしくしく泣く声が聞こえてきました。男子3～4人で親元へ帰ろうと脱走した子もいましたが、警察にすぐに連れ戻されていました。

疎開している間、空襲警報が2回ぐらいなり、6年生に連れられて山へ避難したこと、松原神社で芝居を見たこと等を覚えています。

しかし、私には「食べ物がなくてとてもつらかった。」という記憶は無いのです。川西村の人が野菜などをくださっていたからです。川西村の人には、すごく親切にしてもらいました。疎開してから78年、今まで生きてこられたのは川西村の人に親切にいただいたおかげです。

今日は、川西村の方にお礼を言いたくて来ました。本当にありがとうございました。



八田さんは、目に涙をうっすらと浮かべて深々と一礼されました。

波線を付けた最後の言葉に、胸が熱くなりました。児童のみならず、保護者や川西地域の方にもお聞きしていただきたい言葉でした。

平和学習の後、4人の方は、それぞれの疎開先のお寺にご挨拶に行かれてから、広島市へ帰られました。



松村さんと
沓内(くつない)さん

お二方とも、田幸の正願寺に疎開。当時小学校4年生。

塩町中学校3年生による出前授業～リトルティーチャー～

7月13日(木)、本校出身を中心とした塩町中学校の3年生9名が、小学校を訪れ、出前授業をしてくれました。



1年生：図工「おもちゃ作り」
(井堀さん, 延原さん)



2年生：図工「色水作り」
(湧永さん)



3・4年生：図工「ポスターを描こう」
(小平さん, 湯浅さん, 傳明地さん)



5年生：図工「作品鑑賞」
(島本君, 小山君)



6年生：図工「作品鑑賞」
(熊高君)

()内は、授業をして
くれた塩町中3年
生の生徒名です



先生役の中学校3年生は、事前に授業の流れの計画書を作成し、写真や自作のポスターなど多くの準備をしていました。だからこそでしょう、小学生も楽しみながら積極的に授業に参加していました。

授業後、会議室に集まった中学生が感想を発表してくれました。

「授業をするのも授業の準備をするのも大変でした。先生達は、時間と労力をかけて授業しているのだと分かり、明日からは先生の話をしっかり聞こうと思いました。」

自分が苦労したからこそ得たものがあつたようです。(授業は準備に時間がかかるのです。)

塩町中学校の3年生の皆さん、よく頑張りました。そして、ありがとうございました。



7月19日 防犯教室

夏休みを前に、木村川西駐在所長様より「不審者による声掛け事案への対応方法」を教えてもらいました。
(例)道を尋ねられたら「駐在所が近いので聞いてください。」と答える。



7月20日 1学期にがんばったこと発表

終業式後、各学年の代表が、「がんばって練習して泳げるようになった。」「勉強し、テストの点も上がった。」等、がんばったことや成長したことを発表しました。

代表児童だけでなく、全員成長しましたよ。(1日も休まなかった子も多くいました。)

